

公共施設全体最適化計画の進捗について

施設名称	R3.3 2020(令和2)年度末 第Ⅰ期全体最適化計画(～2026(令和8)年)			R3.3 2020(令和2)年度末 第Ⅱ期全体最適化計画(～2036(令和18)年)			2024(令和6)年3月現在 取組において変化が生じた内容 (時期の遅速の変化が生じた内容は 除く)
	2026(令和8)年の状態		取組	2036(令和18)年の状態		取組	
	機能面	施設面		機能面	施設面		
高砂公民館	移転	廃止	高砂地区コミュニティーセンターに統合し、2026(令和8)年度までに地域交流センター化を進める。	移転	廃止	高砂地区コミュニティーセンターに機能を統合し地域交流センターとする。移転後の施設は廃止する。	2023(令和5)年度末で施設は廃止し、売却の手続きを進める。
曽根公民館	移転	廃止	地域交流センターとして別敷地に建て替えし、2024(令和6)年度に開館する。 2026(令和8)年度までに資産の処分手法を計画する。 2021(令和3)年：設計／ 2022(令和4)～2023(令和5)年：工事	—	—	—	2023(令和5)年度末で施設は廃止し、売却の手続きを進める。
雇用支援センター	維持	維持	2026(令和8)年度までに勤労者総合福祉センターへの統合を計画する。	移転	廃止	勤労者総合福祉センターに機能を統合することを検討し、移転後の施設は廃止する。	2023(令和5)年度に策定した「高砂市の勤労者福祉と高砂市勤労者総合福祉センターの今後の在り方及び一般財団法人高砂市勤労福祉財団の今後の役割と方向性に関する市の方針」に基づき、センターを新たな目的に変更する際に今後の方針を見直す。
勤労者総合福祉センター	維持	維持	2026(令和8)年度までに雇用支援センターの統合を計画する。	統合	維持	雇用支援センターの機能を統合し、雇用・労働施策を総合的に実施することを検討する。	勤労者福祉施策の拠点施設としての役割は一定達したことから、勤労者福祉施設としての目的を廃止し、令和7年度末までに新たな目的を検討していく。
阿弥陀こども園	維持	維持	2026(令和8)年までに市内のこども園等のあり方(定員、直営・民営化・廃園区分)を計画する。 ⇒■令和5年1月26総務常任委員会報告 (2023(令和5)年1月現在取組において変化が生じた内容) 現在、建替えに伴い基本設計を行っている。	維持	維持	施設は維持する。(※園児数推移、他地区園整備によって方向性の変更)	2022(令和4)年に「公立就学前教育・保育施設の今後の在り方について」を策定し、民間移管・統廃合等による施設の方向性を検討した。 2022・23(令和4・5)年度に、園舎建替えに伴う工事設計を行った。 2024(令和6)年度より建替え工事を進める。
曽根分団車庫・倉庫	移転	廃止	別敷地に建て替えし、2024(令和6)年度に開館する。 2023(令和5)年度までに資産の処分手法を計画する。 2021(令和3)年：設計／ 2022(令和4)～2023(令和5)年：工事	—	—	—	2023(令和5)年度末で施設は廃止し、売却の手続きを進める。
企画総務部倉庫(旧高砂西保育園)	維持	維持	2023(令和5)年までに今後の施設のあり方を計画する。 ⇒■令和5年1月26総務常任委員会報告 (2023(令和5)年1月現在取組において変化が生じた内容) 施設は廃止する。	廃止	廃止	施設は廃止する。	売却の手続きを進める。
蓮池医師公舎	維持	維持	2026(令和8)年までに今後の施設のあり方を計画する。	維持	廃止(維持)	病院の建替に併せ、公舎のあり方について検討する。	売却の手続きを進める。